

アジア・太平洋輝く女性の交流事業及び報告書の目的

平成28年度より始まった「アジア・太平洋輝く女性の交流事業」においては、アジア・太平洋諸国を中心とする各国と我が国の交流における架け橋女性（注）の活躍に焦点をあて、調査を行うとともに、架け橋女性を招聘してシンポジウムや国際交流の場を開催し、女性の視点から、日本とアジア・太平洋諸国との友好・信頼関係の深化を図ることを目的としている。

具体的には、アジア・太平洋諸国で活躍する架け橋女性について、起業、企業勤務等における活躍の実態、アジア・太平洋諸国と日本の両方での経験から感じた魅力や今後の活躍における課題等について幅広く聴取・分析等の調査を行い、報告書にまとめるとともに、世の中に広く発信するものである。

本事業の一環として2016年11月23日に開催した国際シンポジウム「アジア・太平洋 海を越えて活躍する先輩女性たちの魅力～起業家と企業人の世界から～」においては、本調査をベースとし、女性活躍のロールモデルを示すとともに、我が国の起業、企業勤務等における課題をどのように克服し、女性の更なる活躍につなげることができるかを議論した。

なお、本報告書は、ヒアリング調査等を基に作成されているため、各個人の見解に基づく部分が多く、必ずしも政府の公式見解ではない。また、できるだけ女性たちの声を正確に記すことを優先したことから、一部の表現が口語調等になっていることに留意されたい。

また、事例集における所属・肩書き等は、ヒアリング調査を行った2016年10～12月時点のものである。

本事業及び本報告書については、以下の6名の調査検討委員会による検討のもと、実施・編集された。

委員長	大沢真知子	日本女子大学 人間社会学部 教授
委員	奥田 浩美	株式会社ウィズグループ 代表取締役
	久保田 学	一般社団法人留学生支援ネットワーク 事務局長
	白木 夏子	株式会社HASUNA 代表取締役
	鈴木有理佳	アジア経済研究所地域研究センター 動向分析研究グループ長代理
	濱田 真里	株式会社ネオキャリア ABROADERS編集長

（注）架け橋女性とは、アジア・太平洋諸国と日本の両国を知り、お互いの国に貢献している存在とし、以下のように定義した。

- ①日本国内及びアジア・太平洋諸国で活躍する日本人女性
 - ・アジア・太平洋諸国で起業した日本人女性
 - ・日本からアジア・太平洋諸国の現地企業等へ就職して現地で活躍している女性
 - ・日本国内においてアジア・太平洋諸国と深い関わりを持った事業を行っている日本人女性
- ②日本国内で活躍する外国人女性、又は日本に過去に居住経験があるアジア・太平洋諸国の外国人女性
 - ・アジア・太平洋諸国から、日本の大学・大学院等に留学するなどし、起業ないしは日本企業等へ就職している女性
 - ・過去に日本に居住経験があり、現在は日本での経験を生かして活躍しているアジア・太平洋諸国の外国人女性
- ③上記①及び②の女性の支援者・支援団体

本報告書に出てくるアジアの国・地域

